2026年12月期　第３四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2026年11月６日

上 場 会 社 名　　オーナンバ株式会社　　上場取引所　東
コ ー ド 番 号　　5816　　URL　http://www.onamba.co.jp/
代　　表　　者　（役職名）　代表取締役社長　　（氏名）　木嶋忠敏
問合せ先責任者　（役職名）　常務取締役管理統括部長　（氏名）　熊谷康浩　　(TEL) 06-7639-5500

配当支払開始予定日　　―
決算補足説明資料作成の有無　　：無
決算説明会開催の有無　　：無

（百万円未満切捨て）

１．2026年12月期第３四半期の連結業績（2026年１月１日～2026年９月30日）

（１）連結経営成績(累計)

（%表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年12月期第３四半期	37,269	14.8	1,772	1.6	1,839	17.7	1,219	10.0
2025年12月期第３四半期	32,466	△3.2	1,744	26.2	1,562	16.8	1,108	△47.1

(注) 包括利益　2026年12月期第３四半期　2,134百万円(　117.7%)　2025年12月期第３四半期　980百万円(　△57.3%)

	１株当たり四半期純利益	潜在株式調整後１株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2026年12月期第３四半期	100.09	―
2025年12月期第３四半期	91.00	―

（２）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年12月期第３四半期	44,056	29,435	65.9
2025年12月期	42,051	28,409	66.0

(参考) 自己資本　2026年12月期第３四半期　29,052百万円　2025年12月期　27,755百万円

２．配当の状況

	年間配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年12月期	―	20.00	―	21.00	41.00
2026年12月期	―	35.00	―		
2026年12月期(予想)				35.00	70.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無　　：　無

３．2026年12月期の連結業績予想（2026年１月１日～2026年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		１株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,000	5.8	2,700	3.8	2,700	10.6	1,900	25.4	155.91

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

※　注記事項

（１）当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更　　：　無

新規　　ー社（社名）　　、除外　　ー社（社名）

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用　　：　無

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

①　会計基準等の改正に伴う会計方針の変更　　：　無

②　①以外の会計方針の変更　　：　無

③　会計上の見積りの変更　　：　無

④　修正再表示　　：　無

（４）発行済株式数（普通株式）

①　期末発行済株式数（自己株式を含む）	2026年12月期３Ｑ	12,558,251株	2025年12月期	12,558,251株
②　期末自己株式数	2026年12月期３Ｑ	371,611株	2025年12月期	371,588株
③　期中平均株式数（四半期累計）	2026年12月期３Ｑ	12,186,652株	2025年12月期３Ｑ	12,186,663株

※　添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー　　：　無

※　業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料の３ページ「１．当四半期決算に関する定性的情報（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．株式等の状況 …… 4
（１）株式の総数等 …… 4
（２）発行済株式総数、資本金等の推移 …… 4
（３）議決権の状況 …… 4
３．四半期連結財務諸表及び主な注記 …… 5
（１）四半期連結貸借対照表 …… 5
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 7
四半期連結損益計算書 …… 7
第３四半期連結累計期間 …… 7
四半期連結包括利益計算書 …… 8
第３四半期連結累計期間 …… 8
（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（四半期連結貸借対照表に関する注記） …… 9
（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記） …… 9
（セグメント情報） …… 10
（収益認識関係） …… 11
（重要な後発事象） …… 11

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

１ 当第３四半期における業績全般の動向

当第３四半期連結累計期間（2026年１月１日～2026年９月30日）における当社グループの経営環境は、ロシア・ウクライナ紛争の長期化、中国市場の低迷、原材料価格の高騰や為替相場の変動に加え、中近東情勢の緊迫化や米国の通商政策の動向など、依然として先行き不透明な状況が続いております。

このような状況において、当社グループでは、中期経営計画「ＰＲＯＧＲＥＳＳ ２０２６」の下、エネルギー新時代に即した「グローバルな総合配線システムメーカー」の実現に向けて、成長戦略、生産戦略、経営基盤強化と資本コストを意識した経営に、着実に取り組んでおります。

当第３四半期連結累計期間の業績について、売上面では、日本およびアジア(日本除く)における産業機器市場の需要が堅調に推移しました。あわせて、円安による為替換算上の理由、ならびに原材料価格の上昇に対する一部の製品価格の改定等により売上高が増加しました。その結果、当社グループの売上高は前年を上回りました。

利益面では、北米市場におけるペソ高による為替変動に加え、原材料価格の上昇や品種構成の悪化等が利益を圧迫しましたが、売上高の増加による増販益に加え、グローバルでの原価低減活動による利益の改善に取り組みました。その結果、営業利益は前年を上回りました。また、経常利益、親会社株主に帰属する四半期純利益につきましても、営業利益の増加に加え、前年に計上した為替差損が大幅に減少したこと等から、前年を上回りました。

これらの結果、当第３四半期連結累計期間の売上高は37,269百万円（前年同期比14.8%増）、営業利益は1,772百万円（同1.6%増）となり、経常利益は1,839百万円（同17.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は1,219百万円（同10.0%増）となりました。

２ セグメントの業績

期別 セグメント別	売上高			営業利益		
	前第３四半期連結累計期間（百万円）	当第３四半期連結累計期間（百万円）	増減率（%）	前第３四半期連結累計期間（百万円）	当第３四半期連結累計期間（百万円）	増減率（%）
日本	17,516	19,940	13.8	962	1,080	12.2
欧米	8,849	10,020	13.2	75	△ 37	－
アジア（日本を除く）	6,101	7,307	19.8	720	722	0.3
消去	－	－	－	△14	7	－
合計	32,466	37,269	14.8	1,744	1,772	1.6

（注）増減率につきましては、表示単位未満を四捨五入しております。

①日本

当第３四半期連結累計期間は、産業機器市場において、ワイヤーハーネス・電線を中心に需要が堅調に推移しました。あわせて、原材料価格の上昇に対する一部の製品価格の改定等により売上高が増加しました。その結果、日本での売上高は19,940百万円（前年同期比13.8%増）となりました。

利益面では、原材料価格の上昇や品種構成の悪化等が利益を圧迫しましたが、売上高の増加による増販益等により、営業利益は1,080百万円（前年同期比12.2%増）となりました。

②欧米

当第３四半期連結累計期間は、北米における自動車関連市場の需要が堅調に推移しました。あわせて、円安による為替換算上の理由により売上高が増加しました。その結果、欧米での売上高は10,020百万円（前年同期比13.2%増）となりました。

利益面では、売上高の増加による増販益に加え、メキシコ工場での生産性の改善に取り組むも、北米市場におけるペソ高による為替変動や原材料価格の上昇等が利益を圧迫しました。その結果、営業損失は37百万円（前年同期は75百万円の営業利益）となりました。

③アジア（日本を除く）

当第３四半期連結累計期間は、中国市場の需要は引き続き低調に推移しているものの、産業機器市場における需要が堅調に推移しました。あわせて、円安による為替換算上の理由により売上高が増加しました。その結果、アジアでの売上高は7,307百万円（前年同期比19.8%増）となりました。

利益面では、売上高は増加するも、コスト競争の激化などの影響により、営業利益は前年並みの722百万円（前年

同期比0.3%増）となりました。

（２）財政状態に関する説明

資産、負債、純資産の状況

＜資産＞

資産合計は、44,056百万円（前期末比2,004百万円増）となりました。主に、現金及び預金2,375百万円、棚卸資産833百万円及び投資その他の資産1,022百万円が増加いたしましたが、受取手形、売掛金及び契約資産が1,872百万円減少しました。

＜負債＞

負債合計は、14,621百万円（前期末比978百万円増）となりました。主に、支払手形及び買掛金452百万円、繰延税金負債245百万円、賞与引当金239百万円及び流動負債のその他が285百万円増加いたしましたが、短期借入金が252百万円減少いたしました。

＜純資産＞

純資産合計は、29,435百万円（前期末比1,025百万円増）となりました。主に、利益剰余金が537百万円、その他有価証券評価差額金が631百万円及び為替換算調整勘定が254百万円増加いたしましたが、資本剰余金が135百万円及び非支配株主持分が270百万円減少いたしました。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、2026年２月10日公表の業績予想から変更はありません。

２．株式等の状況

（１）株式の総数等

① 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	45,000,000
合計	45,000,000

② 【発行済株式】

種類	第３四半期会計期間末現在発行数(株)（2026年９月30日）	提出日現在発行数(株)（2026年11月６日）	上場金融商品取引所名又は登録認可金融商品取引業協会名	内容
普通株式	12,558,251	12,558,251	東京証券取引所スタンダード市場	単元株式数は100株であります。
合計	12,558,251	12,558,251	―	―

（２）発行済株式総数、資本金等の推移

年月日	発行済株式総数増減数(株)	発行済株式総数残高(株)	資本金増減額(千円)	資本金残高(千円)	資本準備金増減額(千円)	資本準備金残高(千円)
2026年９月30日	―	12,558,251	―	2,323,059	―	2,031,801

（３）議決権の状況

① 【発行済株式】

2026年９月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	―	―	―
議決権制限株式(自己株式等)	―	―	―
議決権制限株式(その他)	―	―	―
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 371,600	―	―
完全議決権株式(その他)	普通株式 12,159,000	121,590	―
単元未満株式	普通株式 27,651	―	―
発行済株式総数	12,558,251	―	―
総株主の議決権	―	121,590	―

(注) 「完全議決権株式（その他）」欄の普通株式には、証券保管振替機構名義の株式が、2,000株含まれております。また、「議決権の数」欄には、同機構名義の完全議決権株式に係る議決権の数20個が含まれております。

② 【自己株式等】

2026年９月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(自己保有株式) オーナンバ株式会社	大阪市中央区南久宝寺町四丁目１番２号	371,600	―	371,600	2.96
合計	―	371,600	―	371,600	2.96

３．四半期連結財務諸表及び主な注記

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,228,236	9,603,341
受取手形、売掛金及び契約資産	10,971,781	9,098,838
商品及び製品	3,506,134	3,718,543
仕掛品	1,188,903	1,271,800
原材料及び貯蔵品	4,990,249	5,528,399
その他	1,360,632	911,664
貸倒引当金	△4,064	△4,474
流動資産合計	29,241,873	30,128,112
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,862,368	2,895,694
機械装置及び運搬具（純額）	2,661,276	2,580,001
土地	2,391,122	2,388,747
建設仮勘定	114,755	223,176
その他（純額）	884,750	844,552
有形固定資産合計	8,914,274	8,932,173
無形固定資産	424,490	502,612
投資その他の資産		
投資その他の資産	3,534,650	4,556,965
貸倒引当金	△63,514	△63,244
投資その他の資産合計	3,471,136	4,493,720
固定資産合計	12,809,901	13,928,506
資産合計	42,051,774	44,056,619

（単位：千円）

	前連結会計年度 (2025年12月31日)	当第３四半期連結会計期間 (2026年９月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,842,469	7,294,766
短期借入金	896,410	643,572
未払法人税等	220,483	295,592
賞与引当金	337,321	576,998
役員賞与引当金	25,950	28,800
製品改修引当金	4,655	4,655
品質保証引当金	245,714	257,761
その他	1,879,669	2,164,972
流動負債合計	10,452,672	11,267,121
固定負債		
長期借入金	1,177,460	1,073,641
繰延税金負債	657,548	903,430
退職給付に係る負債	771,579	810,274
その他	583,396	567,046
固定負債合計	3,189,984	3,354,391
負債合計	13,642,657	14,621,512
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,323,059	2,323,059
資本剰余金	1,741,658	1,606,458
利益剰余金	18,387,494	18,924,779
自己株式	△160,589	△160,629
株主資本合計	22,291,623	22,693,668
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,102,467	1,733,913
為替換算調整勘定	4,364,633	4,619,247
退職給付に係る調整累計額	△2,826	5,408
その他の包括利益累計額合計	5,464,273	6,358,568
非支配株主持分	653,221	382,869
純資産合計	28,409,117	29,435,106
負債純資産合計	42,051,774	44,056,619

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
売上高	32,466,767	37,269,004
売上原価	25,855,328	30,240,090
売上総利益	6,611,438	7,028,913
販売費及び一般管理費	4,866,804	5,256,176
営業利益	1,744,633	1,772,736
営業外収益		
受取利息	38,497	56,490
受取配当金	41,572	71,897
持分法による投資利益	32,107	－
助成金収入	10,119	6,262
その他	58,442	76,574
営業外収益合計	180,740	211,224
営業外費用		
支払利息	33,838	37,287
持分法による投資損失	－	27,014
為替差損	291,862	41,727
その他	36,797	38,104
営業外費用合計	362,498	144,133
経常利益	1,562,875	1,839,827
特別利益		
固定資産売却益	3,841	7,494
投資有価証券売却益	－	15,799
特別利益合計	3,841	23,293
特別損失		
固定資産処分損	3,673	39,959
品質保証引当金繰入額	－	10,889
特別損失合計	3,673	50,848
税金等調整前四半期純利益	1,563,042	1,812,272
法人税、住民税及び事業税	532,947	698,051
法人税等調整額	△91,316	△107,849
法人税等合計	441,631	590,201
四半期純利益	1,121,411	1,222,070
非支配株主に帰属する四半期純利益	12,452	2,333
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,108,959	1,219,737

四半期連結包括利益計算書

第３四半期連結累計期間

（単位：千円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 2025年１月１日 至 2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自 2026年１月１日 至 2026年９月30日）
四半期純利益	1,121,411	1,222,070
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	174,129	631,446
為替換算調整勘定	△299,627	272,562
退職給付に係る調整額	△15,713	8,234
その他の包括利益合計	△141,211	912,243
四半期包括利益	980,200	2,134,313
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	975,513	2,114,032
非支配株主に係る四半期包括利益	4,686	20,281

（３）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期連結貸借対照表に関する注記）

（偶発債務）

当社は、2026年８月18日に開示した「当社に対する訴訟の提起に関するお知らせ」のとおり、株式会社カネカより、2026年７月14日付で大阪地方裁判所に36億2941万3997円の損害賠償の支払いを求める訴訟を提起されております。今後の推移によっては、当社の連結業績に影響が生じる可能性があります。なお、現時点ではその影響額を合理的に見積もることは困難であります。

（四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第３四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第３四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第３四半期連結累計期間 （自　2025年１月１日 至　2025年９月30日）	当第３四半期連結累計期間 （自　2026年１月１日 至　2026年９月30日）
減価償却費	747,653千円	899,894千円

（セグメント情報）

【セグメント情報】

Ⅰ　前第３四半期連結累計期間（自　2025年１月１日　至　2025年９月30日）

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

（単位：千円）

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア（日本を除く）	
売上高				
一時点で移転される財	16,684,489	8,849,185	6,101,577	31,635,252
一定の期間にわたり移転される財	831,514	－	－	831,514
顧客との契約から生じる収益	17,516,004	8,849,185	6,101,577	32,466,767
外部顧客への売上高	17,516,004	8,849,185	6,101,577	32,466,767
セグメント間の内部売上高又は振替高	3,737,683	4,637	5,414,670	9,156,991
合計	21,253,687	8,853,822	11,516,247	41,623,758
セグメント利益	962,750	75,918	720,268	1,758,938

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

（単位：千円）

利益	金額
報告セグメント計	1,758,938
セグメント間取引消去	△14,304
四半期連結損益計算書の営業利益	1,744,633

Ⅱ　当第３四半期連結累計期間(自　2026年１月１日　至　2026年９月30日)

１．報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント			合計
	日本	欧米	アジア（日本を除く）	
売上高				
一時点で移転される財	18,884,352	10,020,861	7,307,298	36,212,511
一定の期間にわたり移転される財	1,056,492	－	－	1,056,492
顧客との契約から生じる収益	19,940,844	10,020,861	7,307,298	37,269,004
外部顧客への売上高	19,940,844	10,020,861	7,307,298	37,269,004
セグメント間の内部売上高又は振替高	4,025,149	15,653	6,072,533	10,113,337
合計	23,965,994	10,036,515	13,379,831	47,382,341
セグメント利益又は損失（△）	1,080,344	△37,314	722,369	1,765,399

２．報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	1,765,399
セグメント間取引消去	7,337
四半期連結損益計算書の営業利益	1,772,736

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、「注記事項（セグメント情報）」に記載のとおりであります。

(重要な後発事象)

（自己株式の取得）

当社は、本日（2026年11月６日）開催の取締役会において、会社法第165条第３項の規定により読み替えて適用される同法第156条の規定に基づき、自己株式取得に係る事項及びその具体的取得方法を決議いたしました。詳細につきましては、本日公表いたしました「自己株式の取得及び自己株式立会外買付取引（ToSTNeT-3）による自己株式の買付けに関するお知らせ」をご参照ください。